

一般質問通告書

No. 1

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により通告します。

平成 28 年 11 月 22 日

議席番号 3 番

東村山市議会議長 様

質問者 かみまち弓子

記

番号	質問の項目と要旨
1	<p>登下校時の子どもたちの安全確保策について</p>
	<p>児童が事故や犯罪に巻き込まれる悲惨な事件が後を絶たず、地域における児童の安全確保が課題となっている。東村山市では防犯メールなどの活用もあり、通学路における防犯カメラの設置も順次進んでいる。しかし、一般質問等でもたびたび伝えているように、事件や事故が起こってからでは遅く、根本的な安全確保とは言えない。</p> <p>そんななか児童や生徒の登下校時間帯に保護者による防犯パトロールや見守り、一部にシルバーさんによる見守りなどがあるが、人的ネットワークに頼るだけでは、円滑な情報共有や人材確保、また局所的に目が行き届かないところが発生するなど、安定的な防犯体制としては不足があると考え。地域の力でぜひ子供達を見守るためにも、以下について伺う。</p>
	<p>① 27年6月議会の一般質問で聞いた前と後で、児童の登下校、及び児童クラブからの帰宅など、安全確保の方策に変化はあるか。あるとしたらどのような点か。現状と今後の対策を伺う。</p>
	<p>② 朝夕の登下校時に危険個所全学区に見守りをしてもらえるシルバーさん方に入ってほしいと希望する声がある。現状の課題と今後の対策を伺う。</p>
	<p>③ 朝夕の登下校時の見守りに、学区ごと、自治会組織のみなさんに自治会単位でボランティアを募ってもらうことはできないかとの声が保護者や学校から挙がっている。見解を伺う。</p>
	<p>④ 「朝夕の登下校時に見守り」には、地域の方々のご協力・信頼関係の構築や連携が欠かせない。特に、地域の農家さんは農作業をしながらも、子どもたちに声掛け頂くなど常日頃から感謝の声がたえません。しかしながら、「一方的な電話だけで、見学会の日程を決めてくる」等のお声も頂いているなか学校サイドの丁寧な対応が、地域との信頼関係の構築に欠かせないと感じるが、見解を伺う。</p>
	<p>⑤ 「東村山市交通安全対策会議」でも、通学路の路側帯内カラー舗装について報告されているが、市内小、中学校 25 校のグリーンベルトの実施状況を詳しく伺う。</p>

番号	質問の項目と要旨
	<p>⑥ グリーンベルト未実施箇所の現状と対策について伺う。</p> <p>⑦ 平成28年度の厚生労働省の補正予算の中には、「一億総活躍社会の実現の加速」として、「放課後児童クラブにおけるICT化の推進」として、放課後児童クラブにおける子どもの来所・帰宅の状況等をICカードにより把握するシステムの構築に要する費用について、補助を行うため、国でも2016年度の補正予算で0.6億円を計上している。ICタグやカードを使った見守りについて児童クラブを利用する保護者からは数年前より度々市への要望に上がっており、平成27年6月議会でも一般質問したテーマである。国としても推進している「放課後児童クラブにおけるICTの推進」をぜひ当市としても取り入れるべきと考えるが見解を伺う。</p>
2	<p>在籍している子どもたちが本当に使いやすい特別支援教室に</p> <p>通級指導学級で行ってきた指導を在籍校で受けられるようにと、28年度から小学校三校に特別支援教室が設置され、巡回指導教員が巡回指導を実施している。市のHP等でも「一人でも多くの児童が困難さに対応した指導を受けられるようにすることを目的としている」と記述されているなか、導入された特別支援教室に少しでも通いやすくなってほしいとの思いから、私が所属する生活文教委員会の所管事務調査と重ならない範囲で以下、伺う。</p>

番号	質問の項目と要旨
	⑤ 「時間が足りない」という声が多くあるなか、ふだん通学し、学んでいるクラスから同じ学校の中のスペシャルクラスに通うことに対する不安感、抵抗感の声は入っているか。入っているならばどう受け止めているか。課題と対策を伺う。
	⑥ 当市で「特別支援教室導入により期待される効果」として挙げられているうちの「教職員や保護者が指導内容を知る機会が増え、理解が図られます」という点について、学校現場、保護者それぞれからどのような意見があるか。課題と対策について伺う。
3	<p>待機児童の解消に事業所内保育施設の活用を！</p> <p>政府は、平成 29 年度末までに 50 万人分の保育の受け皿を整備することを目標にしているが、多様な就労形態に対応する保育サービスのひとつとして、企業で働く人の子どもを預かる「事業所内保育施設」の設置を推進しており、今後益々需要が高まると見られることから、当市における取り組みについて、以下伺う</p> <p>① 当市において企業や事業所内で保育所を運営しているところがあるか伺う。</p> <p>② 近隣他市において企業や事業所内で保育所を運営しているところがあるか。あれば成果と課題、当市にその取り組みをどう生かすか伺う。</p> <p>③ 厚生労働省では「事業所内保育施設設置・運営等支援助成金」が創設されているが、市内の企業や事業所にはどう周知し、相談又は申請があったか。件数と課題、対策を伺う。</p> <p>④ 単独の企業が保育所を安定的に運営するにはリスクが伴うが、複数の企業が共同で設置・運営する「共同事業型」の保育施設であれば、リスク分散をしながら安定的な利用が見込みやすいと考える。当市もしくは近隣他市において実例があるか。あれば実施例、なければどのように周知し、相談、申請について件数と課題、対策を伺う。</p> <p>⑤ 助成金についての実際の相談や申請は都道府県労働局となっはいるが、当市において企業や事業所の保育ニーズの把握や共同事業型の仲介サポートなどをすべきと考える。見解と課題、今後について伺う。</p> <p>⑥ 東京都庁内で保育所が設置された。どのように評価しているか。東村山市役所でも可能ではないか。検討する余地はないか伺う。</p>